



私がマレーシアの文化に触れて考えたこと

黒瀬 陽音

今回の海外研修では、マレーシアの様々な文化を肌で感じることができた。多民族国家であるマレーシアでは、マレーの民族をはじめとして、中華系やインド系などの複数の民族が一緒になって生活をしている。言語や宗教などが違う人々が共生しているマレーシアから日本が学ぶべきことは多くあると感じた。例えば、日本の教育機関で起こっているいじめは、自分とは違う部分がある人を排除しようとして起こってしまう問題である。このいじめの問題は、マレーシアの自分とは違うバックグラウンドを持つ人とも協働している姿から解決する方法を見出すことができるのではないかと感じた。

また、今回が私にとって初めての海外だったこともあり、より多くの国の生活や文化を知りたいということを強く感じた。マレーシアを訪れる前はマレーシアに対して、置き引きや盗難が多いことや水道水が飲めないことから、治安が悪く、不衛生な国だというイメージを持っていた。しかし、実際は高いビルが立ち並び、発展途上国とは思えないほど栄えていた。また、ホームビジットや現地学校交流などで訪れた先にいた人々はとてもフレンドリーで、マレーシアの文化をたくさん教えてくれた。グローバル化が進み、複雑化する社会の中で、より平和で持続的な社会の実現に貢献できるような人になるためには、より視野を広げて、世界を知る必要があると思った。